

しごとサポート!

第19号

※障害のある方が安心して働き続けることができるように、仕事に関する相談や支援を行っている文京区の支援機関です。

地域 × 障害者雇用

地域共生企画

『誰も置き去りにしない』—いい会社創り—



▲支援者の研修会で講演して頂きました。



▲代表取締役社長 二木 玲子氏



●本社:葛飾区水元1-3-13
文京支社:文京区本郷1-3-3-4
東京都障害者雇用優良企業

『誰も置き去りにしない会社創り』を目指し、障害者雇用を積極的に取り組まれています。

青と白のツートンカラーの清掃車。朝の区内でいつも見かけるごみ回収のきびきびとした活動。この区内のリサイクル事業に尽力されている企業の一つ、大谷清運(オオタニセイウン)株式会社は、障害のある方とともに働く職場を積極的につくられています。資源循環型社会の実現に貢献する企業として多角経営をされる創業57年の企業です。東京都清掃局の事業で最初に文京区のごみ回収に配車された縁で今も区内に事務所を構えられています。

企業の社会的な責任として、障害者の就業機会の創出に積極的に取り組まれ、法律で定められている社員のうち障害のある方の割合(法定雇用率)は3.58%(2019年6月現在)と法律で定められたものより上の水準で満たされています。最近では、SDGs(エスディーゼズ:全世界全ての人たちが持続的に人らしく生きるための開発目標:2015年国連総会採択)の基本理念である「誰も置き去りにしない(no one will be left behind)ことを誓う」にしたがった『誰も置き去りにしない会社創り』を目指されています。

障害のある方の雇用を開始されたのは18年前。新たな産業廃棄物処理施設を計画した際に近隣からの反対運動をうけ、地域の一員として存在し役立つ企業、「いい会社」でありたいという観点からでした。地域に溶け込むための方策として、小・中学生向けの環境教育や職業体験といったものだけでなく、障害のある方々の雇用についても積極的に取り組みました。その結果、地域の就労支援施設と連携して企業内就労訓練施設を設置。ここでは飲料容器など産業廃棄物の分別作業などで多くの方が活躍されています。当初コミュニケーションに少し不安をもっていたそうですが、それは杞憂で慣れてくると家族のように一緒に働いています。むしろ、集中力、持続力などは教えられる存在となっているそうです。また、特別支援学校を卒業されたばかりの方が総務部門の事務補助メンバーとして勤務され、新卒で入社された方のさらなる成長を、職場の皆さんが見守っていくことを楽しみにされています。今後は、人財(材)の確保と教育の大切さから、キャリアアップの仕組みづくりやスタッフのさらなる意識向上に取り組まれる予定です。

「働く準備」 東京大学医学部附属病院 精神科デイホスピタル(DH)

-区内就労支援施設の紹介-

こころが不調になったあと、うまく治療が進んでも、コミュニケーションに不安を感じたり、学校や職場に行く自信を持てなくなることがあります。そんなときに、社会生活に復帰し、自分らしい生活を送るための準備を行う場所として、東京大学附属病院精神科デイホスピタル(DH)があります。

DHでは、特に20代から30代の方のサポートを行っています。軽作業やスポーツなど誰でも参加できるプログラムがたくさんあります。その中で、利用者(メンバー)は役割分担をして、主体的にプログラムの運営を行います。仲間の中で活動し、役割や責任を果たしていくことで、少しずつ自信を回復します。他にも、専門職による教育プログラムやご家族が学ぶ場としての家族心理教室なども開催しています。

DHのメンバーには、DHに初めて参加するところから「卒業」まで、必ず一人の専門職スタッフがつきます。スタッフは、その人らしいハビリの目標をみつけ、それを達成するお手伝いをします。DHと一緒に活動してくれる方をお待ちしております。



東京大学医学部附属病院 リハビリテーション部
精神科デイホスピタル
Day Hospital (DH) Psychiatric day care Department of Rehabilitation,
University of Tokyo Hospital



より詳しく知りたい方はこちら→

職業スタッフがつきます。スタッフは、その人らしいハビリの目標をみつけ、それを達成するお手伝いをします。DHと一緒に活動してくれる方をお待ちしております。

【お問合せ】

東京大学医学部附属病院 精神科デイホスピタル
文京区本郷7-3-1 東大病院入院B棟10階 TEL:03-3815-5411
URL:<http://todai-dh.umin.jp/>

ハートフル工房

「ギャラリー」 商品展示してあります!

文京区シビックセンター地下2階で定期的で開催している「ハートフル工房」。こちらに出店している障害者施設で製作、販売されている商品を一堂にご覧になれる「ギャラリー」が文京区障害者就労支援センターの一画にあります。



雑貨屋さんスタイルでフレッシュな展示になっています。

かわいい雑貨屋さんのようなディスプレイ。季節にあった飾り付けになっています。就労支援センターの近くにお越しになった際は、どうぞお立ち寄りください。販売はしておりませんので、ご興味がある場合は直接施設にお問い合わせいただくか、ハートフル工房にお越し下さい。

◆ハートフル工房 参加施設

アビーム、大塚福祉作業所、オレンジライン、小石川福祉作業所、工房わかざり は〜と・ピア、は〜と・ピア2、ふる里学舎本郷、ベジティア、リアン文京、若駒の里 ワークショップ やまどり(50音順)

「講演会のお知らせ」

『障害者雇用の現状と実践的的就労支援』 ～働きづらさのある人と共に働く～

企業での障害者雇用の現状と多様な人材の雇用をいかに進めていくか、現場での実践的なノウハウを交えながら、働きづらさのある人をいかに支え、共に働くかを考えます

株式会社エンカレッジ

代表取締役

講師 窪 貴志 氏

日時 2019年10月4日(金)
13:30開場/14:00開演/16:00終演予定

場所 文京シビックセンター26階スカイホール
(文京区春日1-16-21)

参加ご希望の場合は、事前にお申し込み下さい。
(費用はかかりません)

主催 文京区障害者就労支援センター
後援 飯田橋公共職業安定所

職業ガイダンス参加しませんか



毎月第1・第3水曜日
開催しています!

障害のある方の働くこと
お手伝い致します。

文京区障害者就労支援センターは、障害がある方が安心して働き続けられるよう、「仕事」に関する様々な相談や支援を行っている文京区の支援機関です。

文京区在住の方であれば、障害者手帳をお持ちでない方も含めて、ご活用いただけます。(相談は無料です。)

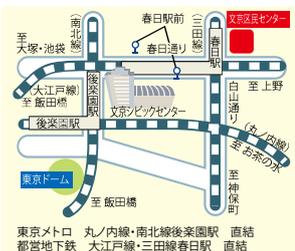
障害者就労支援センターに興味を持たれた方は、まずは毎月第1、第3水曜にある「職業ガイダンス」にご参加ください。(予約必須)

まずはご予約ください。
(電話・FAX・メール・直接お越し頂いて)

電話 03-5805-1600

FAX 03-5805-1601

メール daihyo@bunkyo-shuroushien.jp



就労支援のお問い合わせ

TEL 03-5805-1600 FAX 03-5805-1601 E-mail: daihyo@bunkyo-shuroushien.jp

文京区民センター1階 文京区障害者就労支援センター
〒113-0033 文京区本郷4-15-14

文京区障害者就労支援センター通信「しごとサポート」 第19号(令和元年9月30日発行)

発行 ■文京区障害者就労支援センター 毎回、障害のある人の「働く」を発信していきます。次号もご期待ください。